

大学院生を募集しています。

広島大学両生類研究センター・進化発生ゲノミクス研究グループ（荻野研究室）では、両生類モデル生物（ネツタイツメガエル・アフリカツメガエル）や在来種（リュキュウキュウカジガエル=温泉ガエル）などを使った、進化発生・再生・ゲノム生物学的な研究を進めています。

大学院生は、荻野教授とスタッフ3名による丁寧な指導を受けながらこれらの研究に参加することができます。

荻野研究室の特徴

● 研究に専念できる！

実験動物の飼育については、ツメガエル類飼育のための自動循環水槽を整備しているため、最低限度の飼育労力だけであとは実験に集中できます。また、両生類研究センターはNBRPネツタイツメガエルの中核機関であり、センター内には他リソースの維持も担当する系統維持班もあります。必要になれば、それらのリソースを購入することも可能です。

● 学生に対する教員の比率が高い！

大学院生には3人の教員がマンツーマンで丁寧に指導します。

● 学費減免とTA・RA制度

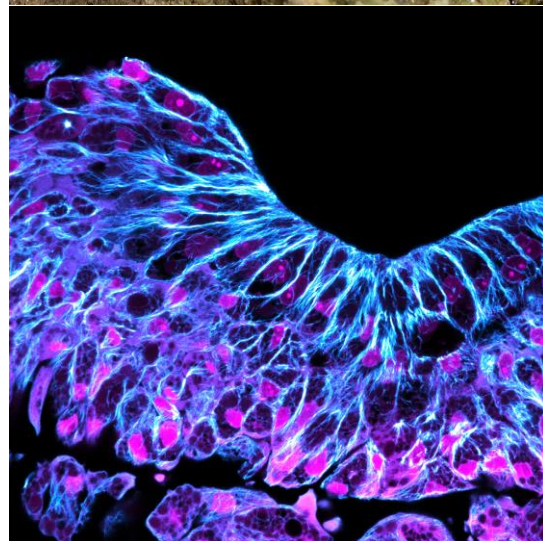
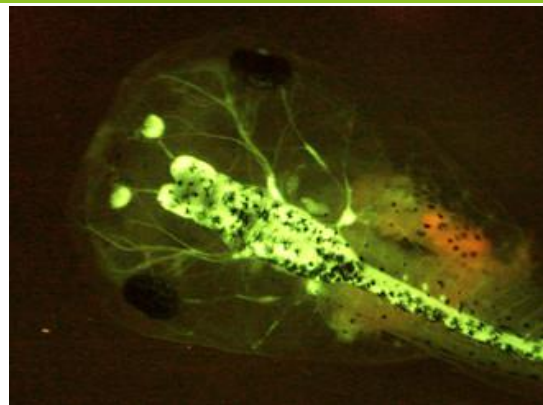
荻野研究室は広島大学統合生命科学大学院・生命医科学/基礎生物学プログラムと同時に、卓越・ゲノム編集先端人材育成プログラムに参画しています。このプログラムでは、**3年次より学費免除、優秀な学生には月額5万円が支給されます。**

現在取り組んでいるテーマの一例

- ゲノム重複に伴う遺伝子進化の研究
- 眼の発生進化におけるエピジェネティック制御の研究
- 脊髄再生におけるエピジェネティック制御の研究
- 生物の環境適応における遺伝子進化・ゲノム進化の研究
- 上皮性器官の発生とヒト疾患モデリング

● ラボ HP: <http://amphibian.hiroshima-u.ac.jp/oginolab/>

● 連絡先：荻野 肇（両生類研究センター、センター長・教授）Email: oginohaj@hiroshima-u.ac.jp



広島大学では大学院入試を年に複数回おこなっておりますので、興味のある方はご連絡下さい。
ポスドクも募集しています。ご興味がある方はお声掛けください。